

横浜体育クラブ 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

○会員の対応

朝の検温

- ・家庭と連携し、朝の検温に協力いただく。その際に37.5度以上の発熱や軽い風邪の症状（のどの痛みだけ、咳だけ、発熱だけ）があった場合、レッスンへの参加を控えてもらう。また、検温チェック表に日付、体温が未記入の場合は、レッスン前に検温し、発熱しているようであれば、親に連絡をして参加を控えてもらう。

濃厚接触者のレッスン参加の自粛

- ・発熱などがある者のみならず、新型コロナウイルス感染者陽性とされた者との濃厚接触がある場合、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、過去14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要と発表されている国・地域などへの渡航、並びに当該在住者との濃厚接触がある場合、レッスンの参加を控えてもらう。

マスクの着用

- ・小学生のレッスン会場への往復はマスクを着用する。またレッスン時はマスクを外しての参加となるため、マスクを入れるビニール袋を持参する。

手洗い、うがい

- ・レッスン前後は石鹸をつけて30秒以上手洗いやうがいを確実にを行う。また、ハンカチやタオルを持参してもらい使用する。

保護者の送迎

- ・保護者はできるだけ送迎のみとし、その際もマスクを着用する。

会場への入退場時間

- ・会場へは、レッスン開始5分以上前に来ないようにするとともに、レッスン終了後は速やかに退場する。

排泄・嘔吐物について

- ・排泄は自宅で行うようにし、できるだけ会場のトイレを使用しないようにする。やむを得ないばあいの利用は可能。
- ・運動中に唾や痰を吐くことは極力行わない。

報告の義務

- ・新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、横浜体育クラブまで速やかに報告する。

○YTCスタッフの対応

出社前の検温

- ・出社前の検温を徹底し、37.5度以上の発熱、咳、全身倦怠感などの症状があれば出社させないようにし、自宅待機を基本とする。発熱などの症状があった場合は、事務所に連絡をする。

濃厚接触者の休業

- ・発熱などがある者のみならず、新型コロナウイルス感染者陽性とされた者との濃厚接触がある場合、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、過去14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要と発表されている国・地域などへの渡航、並びに当該在住者との濃厚接触がある場合、自宅待機を基本とする。

マスクの着用

- ・レッスン会場内では移動、レッスン中も含めマスクを着用する。熱中症対策としてマスクを外すことは可。

手洗い、うがい

- ・石鹸をつけて30秒以上の手洗いやうがいをこまめに行う。

着替え

- ・レッスンの間などできるだけこまめに着替える。

○レッスンや会場での対応

会場の参加人数の設定

- ・会場の広さに応じたレッスン参加人数を設定する。※別紙参照

指導内容について

- ・指導はできるだけ室外で行う。熱中症のおそれや天候不良の場合は室内で行うが、その場合は、十分に換気を行なう。
- ・子ども同士の間隔を常に両手間隔以上（2m以上）あけるようにする。
- ・とび箱、鉄棒、ボールなど、指導者の補助が必要になる内容や、複数者が触れるような内容はしばらく控え、基本運動（その場・移動）や縄運動などの指導を行なう。
- ・鬼ごっこやボールゲームなど、一か所に子どもが密集するような指導はさける。

換気について

- ・室内でレッスンを行なう場合、換気扇があるようであれば常にまわす。換気用の小窓があれば開ける。可能であれば扇風機を使用。また、レッスン前後には窓を開けて換気を行なう。

手洗い石鹸の設置

- ・手洗い場、トイレにポンプ式の石鹸を設置し、レッスン前後、排泄後は30秒以上の手洗いを行なう。

高頻度接触部位の消毒

- ・レッスン前後に高頻度接触部位（ドアノブ、電気のスイッチなど）を消毒液で消毒する。

ゴミの廃棄

- ・鼻水、唾液などがついたゴミはビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクを着用する。
- ・マスクを脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒をする。

【課外】

共有禁止

- ・なわ指導を行なう場合、指導者が子どもへの貸出や手洗いタオルの共有を避ける。
- ・出席カードに子どもたちが1つのハンコを順に使用方法は避ける。

更衣室の使用

- ・プールの更衣室を使用の際は、密にならないよう順に使用する。また、別の場所を使えるようであれば利用する。